

# 垂水高校の話題をお届けします

文＝垂水高校

# SL School Life 垂水号

平成 21 年度  
1 駅目



▼入学式では、新入生代表宣誓や対面式などが行われました



## ▼行事予定表

5月・6月行事予定	
5/8(金)	家庭クラブ母の日感謝行事
5/13(水)	家庭クラブ総会
5/15(金)	PTA 総会
5/19(火)～	1 学期中間考査
5/27(水)	生徒総会
6/5(金)	3 年生面接指導説明会
6/9(火)～	三者面談・家庭訪問
6/17(水)	2・3 年進路ガイダンス
6/24(水)	生徒会役員改選
6/30(火)～	1 学期末考査

## ▼平成 21 年 3 月卒業生の進路状況 (69 名卒業)

進学 (35 名)			
区分	普通科	生活デザイン科	計
大学	国公立大	2	11
	私立大	9	
短大	公立短大	1	9
	私立短大	7	
専門学校	県外	5	15
	県内	8	
就職 (30 名)			
一般企業 (県外)	5	3	8
一般企業 (県内)	8	8	16
自衛隊 (一般曹候補生)	1	1	2
その他 (パートなど)	3	1	4
その他 (4 名)			
家業手伝いなど	3	1	4
計	52 名	17 名	69 名

### まずはじめに

市報ではこれまで垂水高校の情報を発信してきました。平成 19 年度には、垂水高校生徒会を中心に生徒全員でコーナー名を「SL 垂水号」と決め、約 1 年間の連載を行ってきました。平成 21 年度の今回は、コーナー名はそのままに、垂水高校の存続・発展を目的とする垂水高等学校振興対策協議会の活動の一環として、垂水高校と共同で高校の活動・実績等を毎月紹介することになりました。今後とも垂水地域唯一の高校として存続・発展のためにご支援をお願いいたします。

### 第 62 回入学式 55 名が高校生活をスタート

4 月 7 日(火)、快晴。桜の木に若葉が見え始める中、水迫市長をはじめ多数の来賓臨席のもと、第 62 回入学式が垂水高校体育館で行われ、普通科 29 名(男子 11 名、女子 18 名)、生活デザイン科 26 名(男子 9 名、女子 17 名)の生徒、計 55 名が入学しました。

国歌斉唱、入学許可に続いた学校長式辞では、進路実現のためには、校訓「和学行」のもと夢を持って高校生活を送ることが大切だとあり、その後、新入生を代表して普通科の駿河さんが宣誓をしました。続けて P T A 会長祝辞、校歌紹介と進み、厳肅な雰囲気の中で滞りなく入学式が終了しました。

昨年からの 2・3 年生も入学式に参加することになり、入学式の後、新入生の保護者の前で対面式も行われ、在校生を代表して生徒会副会長で 3 年生の柏木さん(垂水中出身)が歓迎のあいさつをし、新入生を代表して生活デザイン科の柁木さんがあいさつをしました。「対面式まで参加できて、子どもが垂高生として上級生から受け入れてもらえる場面を見て安心しました」と保護者には大変好評でした。

# 垂水コーン学と進路体験学習

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)

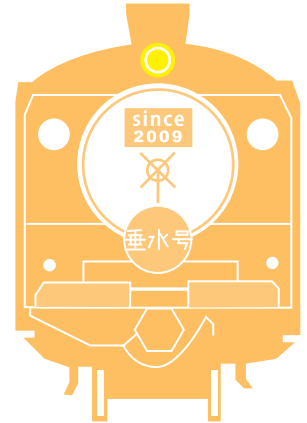
## ▼垂水コーン学的一幕



# SL School Life

## 垂水号

平成 21 年度  
2 駅目



## 「垂水コーン学」始めました

皆さん、「垂水コーン学」をご存知でしょうか。昨年度から、東校長の発案で始めた、本校の「総合的学習」の時間を利用して取り組んでいるプロジェクトです。生徒自らの手でトウモロコシを栽培、収穫し、その活動を通して、環境問題を考えるという試みです。

現在、バイオエタノールという植物由来のエチルアルコールを次世代燃料として利用する動きがあり、そのために穀物の価格が急騰し、新たな食糧不足の問題を生み出すなど、あらゆる面で注目を集めています。生徒達が自分達の手で作物を育て、それを収穫して食べるという行為を通じて、食糧問題や環境問題など、私たちが取り巻くグローバル（地球規模的）な問題をより身近に考える契機になればと考えています。

初の取り組みとなった昨年度は、不安定な天候を読み切れず、十分な収穫を得られませんでした。今年こそはとリベンジに燃えている垂水高生です。応援をよろしくお願いいたします。

## 将来の自分像を描く

4月23日（木）、本校三年生と二年生の進学コースの生徒が「進路体験学習」に参加しました。午前中、進学希望者は鹿児島国際大学を、就職希望者は鹿儿島県庁を見学しました。鹿児島国際大学に訪れた生徒達は、四千人以上の学生が学ぶ広大な敷地に驚き、目標をもって専門分野の研究に励んだり、サークル活動で親睦を深めたりする学生達の姿に真剣に見入っていました。県庁を訪れた生徒達は、職員案内で本庁舎・議会議棟・警察棟などの県政の中核を担う施設を見学しました。議会庁舎を見たある生徒は「ここで裁判が

ひらかれるんですか？」と迷言をひと言……。

午後は、与次郎のベイサイドガーデンで行われた「入学説明会2009」に参加し、前もって計画した希望校の説明に熱心に聞き入る生徒らの姿が見られました。県内の各高校からも多数の生徒が訪れ、「人混みに酔った」と疲れた顔を見せる生徒もいました。彼らの心の中で、自分なりの将来像を描き始めたのではないのでしょうか。就職希望の生徒達は別会場にて、就職対策講座で社会人に必要な心構えについて講話を聴いたり、適性検査を受けたりしました。将来の自己実現に向けて、さらに方向を見定める機会にできたのではないのでしょうか。

## ▼進路体験学習的一幕



## ▼行事予定表

6月行事予定		
6/3	水	1・2年生マナー指導
6/5	金	3年生面接指導説明会
6/9	火	三者面談・家庭訪問（初日）
6/17	水	2・3年生進路ガイダンス
6/19	金	家庭クラブ父の日感謝行事
6/24	水	生徒会役員改選
6/26	金	救命救急法講習会
6/30	火	1学期末考査（初日）

# 生徒総会と垂水コーン

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)



◀生徒会の一幕

## 「生徒総会」開かる

5月28日(木)、「生徒総会」が開催されました。生徒総会は、学校生活の中の生徒による、生徒のための自治活動である生徒会が年に一回開く総会です。生徒会長の山下君を中心とした生

徒会執行部の皆さんが、資料の準備から会の進行まで協力して運営します。

会の内容は、昨年度の会務・決算報告、そして今年度の予算承認などと、生徒たちにとっては少々難解な協議の後、事前に各クラスで話し合って提出された学校への「要望事項」の審議・採決が行われました。生徒たちもこのときばかりは俄然盛り上がりを見せます。その要望の中からいくつかを紹介します。

①「自動販売機を増設してほしい。」：〈否決〉休み時間に人が多いと買えないこともあるとのこと。(自販機ひとつで家一軒分ほどの電気を消費します。地球には厳しいですね。)

②「遠足を行事に取り入れたらいい。」：〈可決〉楽しい行事を増やしたいとのこと。(確かに遠足はありませんが、他校にはない「史跡めぐり」「沢登り」などの行事があります。遠足と違う点はおやつ持参ではない点くらい。)

③「ロードレースの距離を短縮してほしい。」：〈否決〉制限時間内に完走できない人が多かったからとのこと。頑張っ

## ▼現在の垂水コーン



## ▼行事予定表

7月行事予定		
～7/3	金	期末考査
7/8	水	「垂水コーン」収穫予定
7/10	金	クラスマッチ
7/13	月	2年生進路対策講座
7/16	木	1学期末 PTA・地区 PTA
7/17	金	終業式・大掃除
7/21	火	夏季課外授業開始(～7/30)
7/24	金	中学生日帰り体験入学

5月8日に生徒たちの手によって撒かれた「垂水コーン」の種が芽を出し、随分大きく成長してきました。種の状態のトウモロコシは、鳥たちにとって

## 垂水コーンスクスク成長中

は格好のエサですから、掘り返して食べられてしまう危険もあったのですが、なんとか大丈夫だったようです。ひとつの穴に二、三粒の種を撒いたので、そのまま成長するにはお互いが障害になってしまいます。そのために「間引き」が必要です。間引いた苗を持って帰って自宅で植えた人もいたようですが、根を傷めると枯れてしまうようです。つくづく植物を育てることは難しいと感じます。生徒たちはこれから、支柱を立てたり、除草をしたりして成長を見守ります。現在、垂水コーンは高さ50～60cm。七月八日の収穫予定日には、立派な実をつけることでしょう。今年こそは焼きトウモロコシ。

6月25日は「生徒会役員改選」。(現執行部の皆さん、一年間お疲れさま。)また新執行部のメンバーが垂水の活性化へ向けての頑張りが期待されます。

走ればいいという反対意見あり。

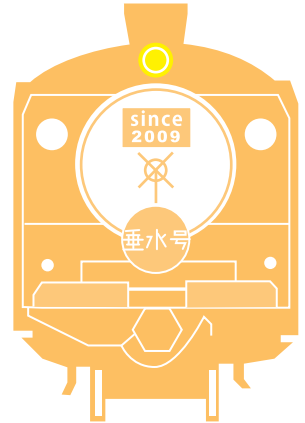
④「男子トイレの段差をなくしてほしい。」：〈否決〉男子トイレを使用するとき、立つ場所が10cmほど高く、妙に緊張してしまふとのこと。

# 生徒総会と垂水コーン

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)

# SL School Life 垂水号

平成 21 年度  
4 駅目



## 生徒総会発足

6月25日(木)に「生徒会役員改選」が行われました。

1・2年生の各クラスから推薦され、立候補した会長候補3名、副会長候補9名が壇上に立ち、全校生徒の前で自分の考える垂高像を主張しました。

生徒会長候補の3名の2年生は、やはり上級生らしく、自分の理想とする「地域の誇りとして地域住民にもアピールできる学校像」を語り、「私たち自身も自覚して変わらなくてはいいない」という意見をはっきりと語り、皆に協力を求めました。

同日行われた全校生徒による投票の結果、生徒会長に田中君(2年普通科)、副生徒会長に関君(2年普通科)と西尾さん(2年普通科)に決定しました。

新生徒会長となった田中君は、「先輩たちのつくった伝統を受け継ぎつつ、より良く変えていきたい」と決意に燃えています。

## 感謝の気持ちを伝えたい

6月19日(金)、「普段お世話になっている父親のために、真心のこもった手作りのお菓子を贈ろう」というイベントが開かれました。これは本校家庭クラブの「父の日感謝行事」で、毎年恒例となっています。今年参加したのは女子だけではなく、男子の姿もチラホラ。慣れない手つきでカップケーキを作る姿はほほ笑ましくもあり、頼みしくもありました。

生活デザイン科の女子の作ったケーキは学校職員にも配られ、ある男性教諭は「まだ、父親ではないし、予定もないが」と、若干戸惑いながらも笑顔で受け取っていました。



## 地元中高の連携を

6月19日(金)本校会議室にて中高連絡会が行われました。この会は現在1年生に在籍している生徒の出身中学校の先生方に、垂水高校の現状や生徒の様子を報告したり、意見交換をしたりする目的で毎年実施しています。今年も地元中学校をはじめ、鹿屋などの市外の中学校からも参加がありました。

まずは授業見学。パソコン室での「情報」の授業、生活デザイン科の生徒たちが来るべき夏にそなえて手作りする「甚平」の「被服製作」などの見学の後、校庭の花壇の「垂水コーン」にも興味深い視線が注がれました。

その後、本校の進路指導、生徒指導等の概況説明、中学校側からの質問。本校の進路決定状況やコース制、生徒たちの携帯電話利用についての質問など、活発な意見交換が行われました。

# 垂水高校の夏

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)



平成 21 年度  
5 駅目



▲ 1～3：一日体験入学の様様、4：耐震工事における引越作業

## 中学生一日体験入学

梅雨が明け、夏休みに突入した7月24日(金)、本校入学希望の中学三年生を対象に「一日体験入学」を行いました。学校紹介後、普通科志望者は英語の授業とパソコン実習を体験。英語の授業では、ALTらとの対話から答えを導き出し、ビンゴシートに記入する趣向に生徒たちは熱心に取り組みました。パソコン実習では、文書作成などの基本を実習。キータッチの素早い生徒もいました。

生活デザイン科志望者は調理実習を体験。チャレンジしたのは鹿児島銘菓「かるかん」です。材料を湯吞に入れて蒸すという裏ワザに生徒たちは感心するところもあり。味は店頭と並べてもおかしくないほどでした。

その後は、部活動を見学。少数精鋭ながらも健闘している体育系の部や、茶道部の御手前披露などを見て、生徒たちも「部員は多くはないのに結果を出している」「レギュラーの座も競争率が低そう」などと興味津々でした。

## ▼三年面接風景



9月16日は、就職試験の解禁日です。この夏が、天王山の戦いとなります。本校三年生の就職希望者も、真剣に面接練習や小論文対策に取り組んでいます。自作の面接ノートに自分の考えをまとめ、先生方をまわって模擬面接。思ったような返答ができずに悔しくて涙目になる光景も。小論文対策も校長先生をはじめ、国語科の先生方を中心に添削指導を繰り返しています。

## 夏、三年生も本気モードに

「作文は苦手だ」といつつも、日々頑張っています。三年生は9月の決戦に備えます。

## ▼行事予定表

9月行事予定		
9/1	火	始業式
9/4	金	3年生進路出発式
9/9	水	生活産業基礎出前授業 (生活デザイン科1年)
9/11	金	第62回体育祭
9/16	水	就職試験スタート
9/17	木	職員研修 (ICT活用)
9/27	日	情報処理検定
9/30	水	職員研修 (いじめ問題)

7月16日(木)、耐震工事のため、全校生徒で校内での引越作業に取り組みました。昨年度、教室棟の半分を工事し、残りの半分を今年夏休みから来年の1月末にかけて工事を行います。工事のドリル音の中、授業をずる先生方が声を張り上げる日々が再びやってきます。学校近隣の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。

## 校舎の「耐震工事」開始

「作文は苦手だ」といつつも、日々頑張っています。三年生は9月の決戦に備えます。

# 垂高の秋は、もちろん勉学の秋

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)



## 夏も過ぎ「読書の秋」到来

秋といえば「読書の秋」。活字離れといわれる現代、読書に勤しむ高校生の数も減っていると言われていますが、本校では平成15年度より毎朝10分間、全員が自分の好きな本を読

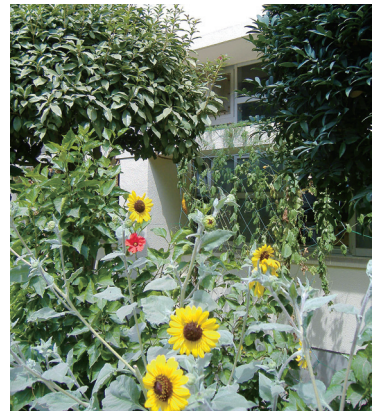
むという「朝読書」に取り組んでいます。これを通して、落ち着いて物事に取り組む姿勢が身に付き、授業への導入もスムーズになってきました。

読書への関心も高まりを見せ、本校の図書館の利用率も近年上昇しています。今年度上半期のクラス別貸出冊数では2年2組の333冊がトップ。続いて1年1組の251冊と、本の貸し出し冊数もかなり増えてきました。個人の貸出冊数では、この5ヶ月間で138冊の本を読破したという多読者もいます。

本との出会いも「一期一会」。悩み多き青春時代の良書との出会いは貴重な人生の糧となります。一生忘れられない一冊との出会いがあるといいですね。

10月行事予定		
10/1	木	職員研修 (ICT 活用)
10/2	金	1年生自然体験学習「沢登り」
10/13	火	第2回市中学校進路担当者会
10/14	水	中間考査 (~16日)
10/21	金	職員研修 (ICT 活用)

## 緑のカーテン・エコへの取り組み



本校でも「緑のカーテン」づくりが始まっています。

つる性の植物などを窓際に植えて、太陽光を遮断することで、エアコンなどの電化製品への依存率を減らし、節電につながる試みです。太陽光を浴びた植物が葉から水蒸気を放出する蒸散作用で室温を5度前後下げることがも可能だとか。

現在、環境教育の一環としてこの活動に取り組む小中学校も増えていますが、本校でも一部の校舎の窓を覆う形でニガウリなどのつる科の植物やヒマワリなどの背の高い植物を植えています。エアコンのない職員室も、この「カーテン効果」で幾分か涼しくなっているようです。

## 面接指導会・三年生も本番間近!

夏休みも終盤に差しかった8月26日(水)、外部から講師を招き、「就職面接指導会」を行いました。緊張した面持ちの3年生たちは面接の基本から丁寧に教えていただきました。

「入室して椅子の横に立つ場合、どちら側に立てばよいのか?」の問いに「左側です」と自信なさげに答える生徒。「どのような場にも上座と下座があり、それによって変わる」ということなどを分かりやすく教えていただいたりして、とても納得した表情の生徒たちでした。

退室するときに「宜しくお願います」と間違えた生徒もおりましたが、本番では大丈夫。健闘を祈ります。

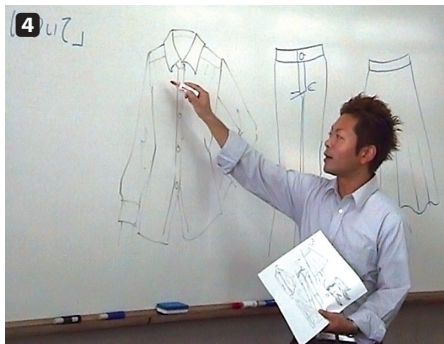


# 垂高の秋は、もちろん勉学の秋

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)



平成 21 年度  
5 駅目



写真説明

- 1・2. 体育祭
- 3. 自然体験学習
- 4. 生活産業基礎出前授業

11 月行事予定		
11/2 ～ 11/20	月 ～ 金	地域が育む 「かごしまの教育」 県民週間に伴う 「授業公開」
11/6	金	校内ロードレース 家ク県研究発表会
11/12 ～ 11/13	木 ～ 金	文化祭
11/20	金	家庭科技術検定
11/24	火	第 2 回学校関係者 評価委員会

**体育祭開催！ (写真 1・2)**

9月11日(金)、心配していた空模様はすっきりと晴れ渡り、第62回体育祭が開催されました。例年、学年対抗で競い合いますが、今年も3年生が上級学年としての実力を見せ、見事優勝。熱戦を繰り広げたりレーや徒競争、和太鼓の音を奏でながら息が合った2年生の女子ダンス、多くの保護者の参加をいただいた10人11脚や職員競技等々、学校全体一丸となって取り組めました。また、生徒数が少ない中、生徒一人一人が主体的に競技や係の仕事をごなし、生徒たちの新たな一面を見ることができました。

**自然体験学習 沢登り (写真 3)**

10月2日(金)、1年生の総合的な学習の時間の一環として鹿児島大学高隈演習林にて自然体験活動を行いました。例年、大野ESD自然学校(垂水市役所企画課)の協力を得て申良川の源流を求める「沢登り」を

実施しています。悪天候に見舞われ、ショートコースに切り替わったものの、川底が突如深くなったり、川の流れに圧されて足元がふらついたりと、ハプニングが続出しました。しかし、仲間と協力し合うことで全員無事にコースを踏破することができました。大自然の中、仲間と共にゴールし、達成感に満ち溢れた生徒達の生き生きとした表情が印象的でした。

**日頃の授業を活かして**

生活デザイン科では、年間を通して様々な検定に取り組んでいます。検定の時期は二期に分かれ、前期は7月から8月です。制限時間内に課題の実技を行い、筆記試験と併せて基準点に達すると合格になります。前期に実施された家庭科技術検定では、被服製作において一級和服1名・二級和服2名、食物調理においては二級2名の取得となっています。

**生活産業基礎出前授業 (写真 4)**

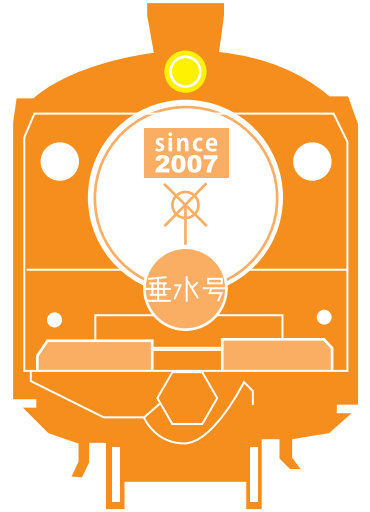
9月30日(水)の3・4限目、デザイン分野の専門学校の先生を招いて1年3組の出前授業を実施しました。「素材に対する着色について」と題して、衣生活分野の専門家より主に「色」の用途について学びました。生活デザイン科として、生徒たちの専門性に対する意識は高く、それぞれ真剣な面持で、実りの多い有意義な時間を過ごせたようでした。

# 恒例ロードレース

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)

# SL School Life 垂水号

平成 21 年度  
7 駅目



結果 男子 1位：上村さん (38,50) 2位：榊原さん (40,04) 3位：有馬さん (40,16)  
女子 1位：堂脇さん (22,28) 2位：才原さん (23,08) 3位：村山さん (23,43)

## 完走、目指して！

11月6日(金)、秋晴れとなった絶好の日和に、恒例行事の校内ロードレース大会を開催しました。男子は9.7km、女子は4.7kmの距離を制限時間内に走り切ることが目標です。

緊張した面持ちで、いざスタート。男女ともに正門前を起点に、文化会館を経由、上本城橋付近で男女のコースが分かれます。ゴールは本校のグラウンドになります。各地点において地域の方々の温かい応援に支えられました。

悪戦苦闘しながらも、何とかゴールを手にした生徒たちは、言葉では言い表すことができないほどの達成感に満ち溢れた表情をしていました。

## 写真説明

- 1・2. 校内ロードレース
- 3・4 美化活動

## 12月行事予定

12/1 (火)～4 (金)	期末考査
12/8 (火)	家ク針供養
12/18 (金)	クラスマッチ
12/24 (木)	終業式



## 垂水市をきれいに

10月23日(金)、5・6限目に毎年恒例の美化活動を実施しました。一年生は文化会館の公園、二年生は学校周辺、三年生は海岸側周辺の道路を担当しました。地域に根ざした学校として、日ごろの感謝の気持ちを胸に取り組みました。例年に比べて、ゴミの量は非常に少なく、垂水市内がきれいになっているのを実感しました。

## 進路決定、奮闘中

9月16日を皮切りにスタートした就職試験。鹿児島労働局が発表した来春卒業予定の高校生の9月末の就職内定率は約40%。

三年生にとっても例年に比べて苦しい状況ですが、9月末現在、就職希望者の約6割が内定、県内・県外の企業の割合が半分以上となつていきます。本校では、企業や進学先での面接試験に先じて、校内選考会を実施しています。総じて、早い時期に校内選考会をパスした生徒の合格率が高いといえます。再度、就職試験にチャレンジする生徒達、県内外の雇用の冷え込みに「不況」という現実を肌で感じています。

面接練習で涙した苦労、なんとか報われてほしいものです。頑張れ垂高三年生。



# 文化と人権

文=垂水高校 (☎ 0994-32-0062)



1 吹奏楽演奏 2・3 ファッションショー 4 モザイクアート 5 人権週間講演「石塚勝郎」氏

## 秋の文化祭 実行委員会が大奮闘！

平成21年最後の大会イベントである文化祭が11月12日（木）、13日（金）の両日に行われました。

今年の文化祭テーマは生徒公募で選定された「New Wave」(ニューウェーブ)、「文字通り垂水高校に新しい波を、実行委員会が手間と時間をかけて楽しく心に残る文化祭をプロデュースしました。

実行委員制作のオープニング映像で盛大に開会。生徒の顔写真のモザイクアート、五千個のペットボトルキャップアート、巨大な飛び出す絵本など、生徒たち自身の手で時間をかけて作りに上げた展示作品。自作の台本による演劇や バンド演奏、恒例の書道部による墨と光のパフォーマンスや生活デザイン科の被服製作実習の涙と汗の結晶であるファッションショーの舞台も圧巻でした。

新型インフルエンザの脅威に

さらされながら、生徒たちもマスク着用で臨んだ2日間でした。多くの市民の皆様から励ましの言葉をいただきました。本当にありがとうございました。

## 「人権週間」共に生きる心

12月4日（金）から10日（木）までの一週間は「人権週間」です。

本校では、12月10日（木）、現在鹿児島大学で講師として教鞭をとられながら、人権啓発活動にご尽力されている石塚勝郎先生を招いて、「共に生きる心で」という演題でお話をさせていただきます。「人権」を深く考える機会を持ちました。

先生は、自ら経験された老人介護の中での差別やいたわりの心、「佐賀のがばいばあちゃん」の中のエピソードを通して、貧しさを温かい心で包み込む出しゃばらない優しさについて、分かりやすく教えて下さいました。

生徒の感想より

■心に残った言葉は「真の思いやりとは、本人の努力でできることは助けず、本来に必要なときに手を貸すこと」です。ただ助けるのではなく、相手の気持ちを考えることが大切だと気付きました。（2年男子）

■グリム童話の「木の皿」が印象深かった。いつかは皆老いて死んでいく。それを自身の問題として受け止めることができれば、差別をする醜い心もなくなるだろう。（2年女子）

■「人生＝才能×努力×心」が心に残った。心にはマイナスがあるというのが深いと思った。過ちを犯して人生をマイナスにしたくない。（3年男子）

### 1月行事予定

1/8 (金)	始業式
1/12 (火) ~ 19 (火)	教育相談
1/16 (土)・17 (日)	大学入試センター試験
1/19 (火)	2年生就職ガイダンス
1/26 (火) ~ 29 (金)	卒業考査 (3年) 修学旅行 (2年)

# 三学期と課題研究

文=垂水高校 (☎ 0994-32-0062)



1 始業式 2 課題研究 3・4 クラスマッチ



## いよいよ三学期スタート 〜始業式〜

1月8日(金)、寒さも極まる本校体育館の中で、本校も新学期がスタートしました。

全校生徒へ向けて東校長は「進級と卒業の学期を迎えたので学業に専念してほしい。また校訓である『和・学・行』の通り、周囲と和する力を高め、知識の習得に努め、積極的に行動してほしい」と話しました。

年も改まり、生徒たちも新たな気持ちで学業での飛躍を誓っていました。

## 師走の体育館に競う 〜クラスマッチ〜

師走の寒風が吹きすさび、桜島の灰の舞う12月18日(金)、本校の冬季クラスマッチが市体育館で行われました。

当初予定されていた男子ソフトボールは、グラウンドの予想以上の冷え込みとインフルエンザ

感染予防への配慮から屋内でのバレーボールへ急遽変更。

しかし、女子のドッジボールともに白熱した闘いが繰り広げられました。女子ドッジボールには助っ人の職員も参加し、生徒以上の働きをしている光景も見られました。

## 努力の成果を見てほしい 〜課題研究発表会〜

12月21日(月)五・六限目、生活デザイン科3年生の課題研究発表会が行われました。

これは、主に「課題研究」の授業を通して取り組んだ成果を発表するものです。課題は、「情報」「被服」「食物」の分野から一つを選択し研究・発表します。主な課題は右下の通りです。

職員や生活デザイン科の1・2年生に囲まれて緊張しながらも、約1年間の軌跡を、思い思いに発表することができました。発表の途中に感極まって涙す

2月行事予定	
2/4 (木)	出前講座 (2年生)
2/5 (金)	3年生に聞く会 大島紬体験学習 (3年生)
2/9 (火)	推薦入試
2/17 (水)	第3回学校関係者評価委員会
2/23 (火) ~ 26 (金)	学年末考査 (1・2年)
2/26 (金)	卒業式予行・同窓会入会式

## 課題研究の各分野の課題

- 情報分野  
ワープロ検定取得を目指す
- 被服分野  
藍染め浴衣やウエディングドレスの製作
- 食物分野  
地元の郷土菓子や垂水の名産を使った料理、お子様ランチなど

る光景も見受けられました。生活デザイン科としての集大成ともいえる記念すべき発表会になりました。

# 食のスペシャリストに魅せられて

文＝垂水高校 (☎ 0994-32-0062)



◀講師：宮元伸一郎

1963年／鹿児島県生まれ  
市内ホテルにて修行を積み、その後上京し、テレビでも活躍中の坂井宏行シェフ師事。

1997年／34歳で独立。鹿児島天文館に「シェ・ムサ」をオープン。

2006年6月／マナーハウス島津重富荘の総料理長に就任。



食のスペシャリストに魅せられて

1月14日(木)、鹿児島市内の島津重富荘の総料理長・宮元伸一郎さんを講師として出前授業を開催しました。3・4時限目に、「食生活分野の専門家より『食のスペシャリストへの道』」と題して一流シェフになるまでの体験談などを聞き、5・6時限目にはフランス料理の実演をしていただきました。料理の腕前は然る事ながら、宮元シェフの仕事に対する姿勢や生き方に感銘を受けた生徒たちでした。



垂水の史蹟を訪ねて

1月29日(金)、1年生を対象に恒例行事の「史蹟めぐり」が実施されました。垂水島津館の担当の方に垂水の歴史について分かりやすく講話をしていただき、往路は島津墓地―猿ヶ城溪谷までをクラス単位で歩きました。復路は、個人のペースで勝軍地藏―薬師観音を訪れました。全行程である約16kmの道のりを踏破し、学びあり・笑いありの有意義な時間を過ごすことができました。

# SL School Life

## 垂水号

平成21年度  
11 駅目

